

實アルベシ。右ニ枚舉スル書籍既ニ悉ク備リタレハ、爾後年々小額ノ全圖ヲ費用スルニ依テ、速ニ甚タ貴重スベキ參考書類ノ文庫ヲ設クルヲ得ヘシ、然ルトキハ獨リ學校ノミナラス、全地方ノ爲メニ知識ノ源泉ヲ開キタルニ等シカルベシ。

學期短縮セル事

過半ノ地方學校ノ免レザル所タル今一ヶ條ノ不利ハ、授業ニ供ス可キ期月短縮セルト是レナリ。市府ノ學校ハ、年々十ヶ月間開業スルノ例ナルニ反シテ、地方ノ學校ノ開業期月ハ殆ド此月數ノ半分ニ過キズ。是ヲ以テ教育ノ機會大ニ不足シ、從テ智力ノ發達モ十分ナルヲ得ズ。又開業ノ間ト雖モ、生徒ノ出席不定ナルニ依リ、既ニ斯ク不足セル機會ヲスラモ十分ニ利用スルヲ難ク、從テ學校ノ實効一層減少スルナリ。

地方ノ事情ニ最モ能ク適當シタル學期ハ、第一ニ九月一日ヲ以テ起ル

八週間ノ一期ト、第二ニ十一月一日ヨリ十日迄ヲ以テ起ル廿週間ノ一期ト、第三ニ五月一日ヲ以テ起ル八週間ノ一期ト是レナルニ似タリ。然ルトキハ、前後三十六週間ノ授業期月ト成ルベク、或ハ中間ノ休業期月ヲ減シテ之ヲ四十週間ニ延ハスヲ容易ナルベシ。此排布法ヲ採ルトキハ、最モ永ク續ケル學期ヲ以テ農家勞力ノ需要最モ少ナキ冬月ニ置キ、又永キ休業ヲ中夏ニ於テ生徒ノ暑氣ニ冒サル、ヲ避ケ、教師ヲシテ休息若シハ勉強ノ餘暇ヲ得シムルノ徳アリ。ペニキースニ於テアガシス氏ノ實驗アリシ以來、教師ノ爲メニ夏學校ヲ開クヲ國中ノ諸方ニ流行ス、是ヲ以テ地方ノ學校ノ學期編成ヲシテ、地方并ニ市府ノ教師ノ夏學校ニ出席スルヲ便ニスルニ適シタルモノナラシメザルベカラズ。

教師ノ變換

大抵ノ地方學校ニ於テハ、年齒稍長シタル生徒ノ出



席スルコト冬月ノミニ限り、夏期ハ幼少ナル者ノ外ニ出席スル者少ナキニ因リ、夏ハ全校ヲシテ恰モ初等科ノミヨリ成立スルモノ、如クナラシム。此事情アルガ爲メニ、每期ニ教師ヲ變換シ、夏ハ給料廉値ナル者ヲ雇使シテ、冬ハ稍、高價ナル者ヲ雇使スルノ習慣起リタリ。然ルニ此習慣ハ學校ニ種々ノ弊害ヲ來タセリ。抑、教師ハ必ス各自授業ノ法ヲ異ニスルモノニシテ、二人トイヘモ全ク同一ノ法ヲ取ルヲ爲シ、是以テ生徒ヲシテ新法ニ馴レシメンガ爲メニハ、毎ニ時日ヲ要セザル無ク、從テ教師ノ出入アルゴトニ、必ス光陰ノ浪費アリ。元來學期短縮セラルヲナレバ、教師ハ其終ニ至ル比漸ク生徒并ニ地方ノ事情ニ熟通シ、會其業ヲ有効ニスルヲ得ルニ至レバ、忽チ職ヲ罷メラレ、翌學期ノ初ヨリ新教師入來シテ、生徒ノ事情ニ熟通センガ爲メニ、更ニ日月ヲ費スコト又前ノ如シ。一箇處ニ於テ僅ニ一學期ノ間ノミ雇使セラル、教師ハ

自ラ其業ニ熱心スル所薄ク、自家ノ學識ヲ進メントスルノ念淺シ。又生徒モ流浪スル教師ニ馴ル、トキハ自ラ其教師ニ禮節ヲ盡クサズ、或ハ全ク之ヲ輕蔑ス、是ヲ以テ學校ハ教師、生徒、父兄ノ熱心及ヒ協合ニ因テ生スル心意ノ克壯ト道德ノ高邁トチ全ク缺クニ至レリ。教師ヲ雇使スル事ニ關シテ取ル可キ真正ノ主義ハ、地方ノ資力ノ及バノ限り高價ナル俸給ヲ拂ヒ、此金額ヲ以テ雇使シ得ヘキ教師中ノ最モ善良ナル者ヲ求メ、且ツ成ル可ク久シク其人ヲ留用スルニ在ルモノ、如シ、蓋シ其拂フニ絶ユル俸給ノ多寡ハ、其地方ノ人民ガ教育ノ價格ヲ了解スル明智ノ深淺ニ依テ定マルモノトス。教師ノ講習會、夏學校、等ニ出席セントスルヲ成ル可ク賛成シテ、之ニ十分ノ便宜ヲ與ヘ、且ツ父兄ニ於テ教師ノ成績ニ對シ活潑ナル熱心ヲ表示スヘシ。又新奇ノ觀念ヲ提出シ、若シクハ授業法ノ一機軸ヲ開クヲ見テハ當初ヨリ唐突ニ



之ヲ批難セズ、須ク結果ノ生スルヲ竣テ可否ヲ判斷スヘシ。教師選擇ノ法其宜シキヲ得、且ツ其道德上ノ効力ノ扶助周密ナルトキハ、學校ノ價格必ス二倍セントス。

◎教師ノ資格 —— 學校ノ事業ヲ完クセンガ爲メニ到底缺ク可カラザルノ一物ハ、善良ナル教師コレナリ。教師ニ比スレバ自餘一切ノ役員ハ要用ノ度淺キ者ニシテ、果シテ能ク其任ニ絶ユル教師ヲ得ンヲ保証シ得バ、監督モ試験官モ忽チ無用ニ歸シ、校長ノ如キモ、只タ學校必要ノ物品ヲ給資スルノ外ニ職務無キニ至ルベシ。然リト雖モ實際ハ世ニ教師ヲラントスル者必ス皆十分ノ才能ヲ有セザルヲ以テ、絶エズ看守ヲ密ニシテ有慾無能者ノ學校ニ來入セントスルヲ避ケンヲ必要ナリトス。監督及ヒ試験ノ制ヲ設クルハ全ク此弊ヲ防カンガ爲メナ

リ、然リト雖モ一旦善良ナル教師ヲ確保シ得タル上ハ、外ニ一人ノ助力干涉ヲ竣タスシテ學校一切ノ事務十分ニ流暢スヘシ。

理學ノ知識 —— 教師ノ備ヘン事ヲ要スル第一ノ資格ニシテ、最モ近易ナル者ハ、其教授セントスル所ノ學科ニ關スル知識ヲ有スル事コレナリ。只タ書ヲ讀ムヲ知リ、教科書ニ據リテ生徒其本文ヲ精密ニ復誦スルヤ否ヤヲ識別スルニ絶ユルノミニテハ、未タ以テ足レリトセズ、必スヤ知識ノ完全ナル、更ニ授業ノ際書籍ヲ要セザルモノナラサル可カラズ。小學初等科ノ教授ヲ完了センカ爲メニスラモ、要スル所ノ知識駁雜ニシテ濶大ナリ。後ニ掲クル課程表ニ就テ其範圍ヲ伺フヘシ。

教師ヲ試験スル事ヲ司ル人々ハ、職務ニ盡カスルノ間ニ甚タ奇怪ナル事ヲ經驗セリ、即チ免許狀ヲ志願スル者ノ中ニ、或ハ綴字ヲ知ラズ、或ハ最モ簡易ナル說話ヲ誦讀スルニ於テモ驚訝スヘキ誤謬ニ陥リ、或ハ算



術ニ於テ平素ノ常業ノ外ニ出ツル者ハ最モ容易ナル問題トイヘ解  
答スルヲ得ズ、或ハ口説書寫ノ双方ニ於テ修述ノ誤錯頗ル多キ人、絶  
エズ輩出スル事コレナリ。斯クノ如キ人ハ却テ頑固ニ志願シテ止マ  
ザルモノナリ、而シテ免許狀ヲ得ザレハ往々役員ヲ非議スルニ至レリ。  
現今第一等ノ免許狀ヲ授クルニ必要ト見做ス所ノ文藝上ノ資格トイ  
ヘ其其實ハ各等ノ學授ノ各級ヲ教授セントスル教師ノ備フ可キ資格  
ノ最下等ニ位スル者タルナリ云フ意ハ若シ是レヨリホ尚ホ學力乏シ  
キ者ハ既ニ何レノ學校ノ何レノ級ヲモ  
絶エズト也

一般ノ修練 || 教師ハ教授スヘキ學科ノ學問上ノ知識ノ外ニ、人世  
一般ノ事物ニ關スル該博ニシテ駁雜ナル習練ヲモ經タル者ナラザル  
ベカラス。語ニ曰ク、凡ソ人ハ過去ノ事歴ニ熟通スルニ非サルヨリハ  
自己ノ能力ヲ自在ニ活用スルモノト言ヒ難シト、善弁カナ言ヤ、學校ノ

實益及ヒ功カチ増進スルヲニ關シテ歴史上ノ知識ノ極メテ必要ナル、  
殆ド言語ニ盡シ難シ。廣キ意義ニテ言ヘバ、此ノ知識ハ文詞ノ各部門  
ニ屬スル知識ヲ包括ス、而シテ凡ソ文詞上ノ學識ニシテ學校ノ授業ノ  
上ニ實用無キ者ハ一モ有ラザルナリ。  
一般ノ習練ノ中ニハ、世界ノ貴要ナル國々ノ現時ノ事件ノ知識ヲモ包  
括スベキモノトス、新聞紙ハ毎朝吾人ニ報道スルニ苟モ世ニ知ラレタ  
ル地球ノ各國ノ事件ヲ以テセリ、然レドモ廣ク現時ノ歴史ニ通スルニ  
非ザルヨリハ、此報道ニ依テ利益ヲ得、之ヲ轉シテ教育上有用ノ材料ト  
セシ難シ。現時ノ歴史ニ通スル教師ハ、何ニ依ラズ當今ノ事變ニ關  
シテ新聞雜誌、以下ノ諸物ヲ有益ニ利用シ、以テ學校ノ價格ヲ非常ニ増  
大スルヲ得ベシ。

心意ノ能力 || 心意ノ諸能力、其發動ノ様式、其制限、及ヒ其發育ノ順



序ニ關スル知識ハ、教育ニ於テ最モ十分ナル成效ヲ見ルニ缺ク可カラ  
 サル者トス。此知識無シトイヘトモ善良ナル教育ヲ授ケンヲ難キニ  
 非ズ、然リト雖モ其作法ハ必ず實驗ニ依頼シ、其事業ハ必ず旋業ノ外ニ  
 出ツルヲ得サルベシ。此知識有ルトキハ、教育上絶エズ發スル疑問  
 ヲ解釋スルノ關鍵ヲ得、新規ノ經驗ニ接スル所以ノ原理ヲ得、授業ヲシ  
 テ生徒ノ所須ニ適當セシメ、課程ヲシテ最モ善良ナル結果ヲ生セシム  
 ルノ術ヲ得、異例非常ナル事件發出スルニ臨テモ弊害ヲ減セズシテ却  
 テ之ヲ増スノ恐アルガ如キ無謀ノ處置ニ出テズ、明智ヲ以テ左右ヲ決  
 スルニ堪ユベシ。

**職務ノ知識** || 教師タラントスル者ハ、其業ニ從事スルノ前ニ、必ス  
 先ツ教育ノ經理ニ熟通センヲ要ス、即チ教育ノ編成、區分、法術、鍛鍊ノ  
 四事ヲ謂フ。編成ハ教育一般ノ範圍課業ノ通途、及ヒ時間ニ關スル學

科ノ正當排布法ヲ包括ス、分類ハ授業ノ爲メニ學識ノ淺深ニ依テ學校  
 ヲ區分スルヲニ關ス、法術ハ生徒ノ動靜ヲ計テ相侵サシメズ、且ツ時間  
 ノ浪費ヲ防ク事ニ係ル、鍛鍊ハ秩序ヲ保全シ學校ノ利害ヲ保護スルノ  
 方法ヲ旨トス。世ノ經驗アル教師ノ此等ノ事目ニ關シテ著述セシ所  
 モ既ニ多ク、理論及ヒ實際ノ上ヨリ之ヲ論究シタリ、故ニ今日ハ貴重ス  
 ベキ書籍ニシテ而モ得易キ者甚タ多ケレバ、教師タル者ハ之ヲ究覽セ  
 ザルノ罪ヲ免ル、能ハザルナリ。

職務上ノ修練ヲ經ルノ方策ハ必ス各教師ノ資力ノ及フ所ニ在リ。〔師  
 範學校〕ニ於テ修業スルノ費用ハ、同一ノ學科ヲ教授スル他ノ學校ニ於  
 テ修業スルノ費用ニ比スレバ廉値ナルヲ常トス、且ツ當今〔師範學校〕ノ  
 設ナキ州ハ殆ト無シ。又或ハ州ニ於テハ〔師範學校〕ノ外ニ、中學校及ヒ  
 高等學校ノ中ニ別ニ級ヲ置テ、無月謝ニテ教師ニ授業セリ。又教師ヲ



教育スル今一ノ方策ハ、近來學事ヲ重スル諸州ノ各郡ニ於テ年々開設セサルハ無キ「教員講習會」ナル者コレナリ。此等ノ職務上ノ修練ノ方策ニ關シ、教師タル者ヲシテ務メシム可キ所ハ、少ナクトモ左ノ二事ヲ下タラザルベシ、曰ク就職ノ前ニ必ズ先ツ師範學校若シクハ中學校ノ職務上ノ授業ヲ受クヘキ事、曰ク就職ノ後モ絶エズ「講習會」ニ出席シ勉勵シテ其演習ヲ修ムヘキ事コレナリ。

**獨修** 絶エズ勤學シテ知識ヲ練磨スルハ、凡ソ教師タル者ノ義務トシテ強ム可キ所ナリ。就中事故アリテ職務上ノ修業ヲ十分ニ遂クルノ機會ヲ得サリシ者ニ在テハ、此義務特ニ重シ。新奇ニ討究セントスル學科ハ主トシテ博物學、心理哲學、并ニ万国ノ歴史及ヒ文辭ニ關スル者ナルヘシ、何トナレバ此等ハ通例世人ノ懈ル所ナレバナリ。此中ニテ直接ニ學校ノ事業ニ從フノ際ニ修習スルヲ得ヘキ者多シ、則チ

教師ノ學識ヲシテ授業ノ間ニ偶然上達セシモノヲ難キニ非ストスルナリ。例ヘハ茲ニ未タ曾テ植物學ヲ研究セサリシ教師アリテ、植物ノ初步ヲ級生ニ授ケント欲ストセンカ、則チ夫人ヨウマンノ「植物小學」又ハゲレイ氏ノ「植物生長如何」ノ如キ小冊子ヲ購求シ、之ニ就テ研究ノ方則チ伺フヘシ。然ル後、先ツ葉ヨリ研究ヲ起シ、形樣、邊端、構造等ヲ觀察シ、細密ナル程度ヲ追テ漸次上進シテ、局部ノ觀察ヨリ全体ノ領會ニ昇ルベシ。サレバ生徒モ大ニ此事ヲ喜ヒテ、自ラ知識ヲ益ヒントス、サレド就中大裨益ヲ得ル者ハ教師コレナリ、而シテ此研究ヲ繼續スル長キニ至ルトキハ、遂ニ大略從前ノ缺點ヲ補フニ至ルコトヲ得ヘキナリ。職務上ノ修業ノ爲メニ設ケタル夏學校ハ教師タル人々ノ爲メニ上文指示スル所ノ如キ方向ニ於テ勉強スルノ好機會ヲ興スモノナレバ、此ル機會ニ投セントセズ、或ハ此等ノ學校ニ出席スル事ニ關スル通常ノ



難阻ニ勝ツニ足ルノ精力無キ者ハ、元來善ク教師タルノ任ニ絶ユルニ必要ナル獨修ノ念慮、銳氣、意志ヲ有セザル者ニ非スマトノ事甚タ嚴重ナル疑問ト成レリ。

**課業ノ巨細** 〓 地方學校ノ爲メニ編成シタル課業ノ通途課下文ニ揭示ス、是レ前ニ科級ヲ設クル學校ノ爲メニ編成シテ「一般ノ課程」ト題スル章下ニ揭示セシ所ト同一ノ通則ニ基據スルモノナリ。然リト雖モ時日ニ關シテ、通途ノ長キヲ縮メ、又多少學科ヲ變更シテ地方學校ノ所須及ヒ事情ニ適合セシメント必要ト認メタリ。此事ニ臨テ答釋セシコト必要ナリシ疑問ハ他無シ、現行教育ノ規模ヲ一層廣濶ニシ、一層合理ナル方法ヲ實施シ、一層實際ニ親切ナル事業ヲ授講シ、一方ニ於テハ教師ノ奮勵ヲ一層的切ニ促進シナガラ、又一方ニ於テハ學識ノ標準ヲシテ高尙ニ過キテ現今就職スル教師ノ過半ノ及フ能ハサル所

タラシノ、爲メニ獎勵ヲ加ヘスシテ却テ絶望ヲ招クカ加キノ患無カルヘキ課程ノ編成法ハ果シテ如何ト云フ是レナリ。此課程ニ於テ履踐スル所ノ現行授業法ノ改革ハ、十分實際ニ適シタル者ナルコト、現ニ諸方ノ學校ノ實驗ニ徵シテ動カザル所ナリ、故ニ國中ノ自餘ノ諸方ニ於テモ此改良課程ヲ採用シテ從來ニ比スレバ一層満足ナル結果ヲ見難キ所以ノ理由更ニ有ル無キナリ。

**字母** 〓 讀方ヲ授クルニ二法アリ、即チ言詞單法ト、句節連法ト是レナリ。注意ノ歸スル所前者ニ於テハ言詞ニ在リ、後者ニ於テハ句節ニ在リ。世ニ知ラレテ弘ク行ハル、ハ前者ナリ、然リト雖モ後者モ稍、新出ニ屬スルニ拘ラズ善ク實理ニ合ヒテ之ヲ採用セバ好結果ヲ見ンコト疑無キ者ナリ。二法ノ詳細ハ須ク教育必携ニ就テ閱シ、或ハ熟練ノ教師ニ就テ聞クベシ。其就レテ採ルモ生徒ヲシテ思想ニ留心スルノ間



ニ偶然字ヲ習得シテ時間ヲ十分節限スルコトヲ得ヘシ。

**讀方** 句節誦讀ノ法ハ、全体ヲ以テ一物トスルニ在リ、其内ノ言詞

ヲ別々ニ誦唱シテ恰モ相連續セザルモノ、如クスルヲ許スベカラズ。一切ノ初步讀方ニ於テ生徒ヲシテ思想ヲ口ニ述ヘントスル前ニ十分心ニ解セシムベシ。其未タ理會スル能ハザル所ノ者ヲ修讀セシム可カラズ、書物ニ依テ思想ヲ開示口説スルノ作法ヲシテ恰モ談話ノ際ニ自然ニ口説スルカ如クニセシムベシ。此簡單ナル忠告ヲ守レバ假作ナル學校誦讀方ノ根枝ヲ斷滅シ、煩悶無靈ノ演習ヲ變シテ以テ好味アリ明解アラシムルコトヲ得ヘシ。

**綴字** 綴字ノ方ヲ教授スル事ニ關シテハ、舊來ノ法ヲ殆ト全ク改革セザル可カラズ。生徒新奇ノ言詞ヲ學フ毎ニ必ス之ヲ石盤ニ書寫セシムベシ。當初ハ印刷字楷ヲ用テ書寫セシムベシ、蓋シ字母ノ形狀

ニ通スルコト一層俊速ナラシメノガ爲メナリ、然レモ漸次之ニ代フルニ筆書字草ヲ以テシ、第一年ノ終ニ至ルニ及テハ全ク筆書字ノミヲ使用スルニ至ラシムルヲ得策トス。斯ク日課ヲ書物及ヒ掛圖ヨリ書寫スル事ヲ以テ日々ノ演習トスルコト少クトモ三年ニ涉ルベシ、但シ必シモ悉皆ノ日課ヲ書寫セシメノコト要用ニ非ズ。第一年ノ終ニ至ルノ前ニ生徒ヲシテ物体ノ名狀ヲ書寫セシムル事ニ着手シ、先ツ一個ノ物ヲ説クニ起リテ漸次複雑ニ進ミ、終ニ完全ナル名狀ニ達スヘシ。今此法ヲ取ルトキハ他ノ學科ヲ研究スルノ際ニ、偶然綴字并ニ筆法ヲ修習セシムルコトヲ得ヘシ。此策ニ出ツルトキハ、生徒決シテ推量ヲ以テ綴字セズ、眼前ニ書寫シ或ハ印刷シタル文字ヲ見ズシテ口頭ニ綴字セズ、綴字不正ナル言詞ヲ見聞セズ、苟モ既ニ自ラ知ル所ノ各言詞ハ正當ニ綴リ得ルニ至ルベシ。其未タ知ラサル所ノ言詞ハ、既ニ之ヲ見タルノ



後ニ非サレバ敢テ綴ラントセズ、是ニ於テカ常ニ綴字ヲ正當ニスルノ習慣ヲ生スヘキナリ。

**實物課業** 實物課業ノ統紀ヲ整頓シテ初當ヨリ諸ノ理學ノ初歩ヲ包括セシム。又其進歩ヲ漸次ニシテ、學識特ニ深カラザル教師ト雖モ之ヲ教授スルニ絶エ、且ツ既ニ彰明セシ方法ニ依テ其干涉スル所ノ理學ニ漸次曉通スルニ便ニス。此部ノ授業ニ供ス可キ時間ノ多少ハ學校ノ事情ト教師ノ巧拙トニ依ルヘシ。元來心意ノ活動ヲ喚起シ、最モ有用ナル知識ヲ心意ニ填寫スルノ徳有ル者ナレバ、實物課業ヲシテ全体ノ半ヲ占メシムルモ敢テ不利トセズ。斯ル實物課業ハ又之ヲ以テ學校一般ニ授クルコトヲ得ヘキ場合モ往々之レ有ルヘシ、然ルトキハ又時日ヲ約節スルノ一助ト成レリ。

**田舎ノ事件** 地方學校ノ教育ニ關シテ甚タ憂フヘキ一事ト云フ

ハ田舎生活ノ事ヲ憶度シテ演習ヲ授ケザル事コレナリ。地方人民ノ一生ノ大半ヲ填寫スル職業、及ヒ之ニ關スル種々ノ利害ノ如キハ、學校事業ニ於テ殆ト至ク憶度セザル所タルハ、遺憾ナラズヤ。昨日マデ農田ニ奔走セシ兒童ノ、農作ニ關シ廣濶ナルモ整頓セザル知識ヲ有シ、且ツ深ク之ニ熱心スル者ヲシテ、此等ノ事業ニハ毫モ關係セズ、剩サヘ無象ニシテ興淺キ課業ヲ修メシムルハ、豈ニ得策ナランヤ。合理ノ教育體系ノ指示スル所ハ、兒童ヲシテ既ニ知ル所ニ關シテ自覺アラシメ、知識ヲ正當ノ順序ニ排布シ、心意ノ既ニ啓發スル所ノ方向ヲ尙ホ追テ觀察討究ヲ獎勵スルニ足ル事ヲ以テ學校課業ノ初歩ト爲スニ在ルモノ、如シ。

地方ノ兒童ハ植物、其名稱、其形様、其功用、及ヒ其生長ノ方ニ關シテ知ル所多キ者ナリ。故ニ少シク獎勵ヲ加フレバ、忽チ植物生活ノ一般ニ關



シテ大ニ熱心ヲ發シ、簡易ナル程度ヲ經テ統紀植物學及ヒ植物生理學ノ門ニ入ラシムルヲ得ヘシ。彼等亦家畜、其特質、其常習、及ヒ其產物ニ關シテモ知ル所多シ。故ニ此知識ヨリ歩ヲ起シテ同シ方向ニ於テ尙ホ攻究ヲ積マシムレバ、之ニ因テ最モ有効ニ知覺力ヲ修練シ、且ツ心意ニ填實スルニ一方ニ於テハ有形界ニ到達シ、又一方ニ於テハ生活ノ現象ニ涉與スル知識ヲ以テスルコトヲ得ヘシ、是レ該博普通ノ修練ノ基本トシテ缺ク可カラザル者ナリ。兒童ガ蜜蜂及ヒ其他ノ蟲類、播種ヨリ割収ニ至ルマデノ農作ノ順序、禾穀ヲ產出シテ市場ニ提出スルノ準備ニ必要ナル作法、及ヒ家庭ノ勞働並ニ節儉ノ作法ニ產物ニ就テ有スル知識ハ、一々皆教育ノ上ニ於テ奇貨ト作シ難キハ無ク、果シテ然スルトキハ、勤學ノ熱心ヲ滋長シ產物ヲ增加スルヲ數倍ナルベシ。

此方法ヲ取ルニ於テ、教師ハ全ク心意發育ノ衆理法中ノ最モ原本ナル

者ヲ遵奉スルモノニ外ナラズ、即チ既知ヨリ未知ニ進ミ、兒童ノ從來ノ經驗ヲ以テ將來ノ成長ノ基本トスルヲコレナリ。斯ク兒童ニ益スルノ外ニ、此方法ハ亦他ノ點ニ於テモ教育ヲ助勢スベシ、則チ授業ヲシテ實際ニ迂遠ナリトノ非難ヲ脱セシメ、父兄ナシテ學校一切ノ事件ニ熱心セシメ、絶エス室家ニ、田畝ニ在テ明智以テ行爲スルノ路ヲ開クヘキナリ。又此方法ハ人民ヲシテ地方ノ生活ノ實價ヲ知ル更ニ深カラシメ、今日ノ如ク市府ニ轉住シ、農作ヲ捨テ、商法又ハ專門ノ職業ニ就カントスルノ趨向ヲ障止スルニ至ルノ効力アラソク余輩ノ切ニ望ム所ナリ。



特別之課程

第一級

語學科

讀方〇〇 塗板及ヒ掛圖ニ依テ言詞句節ヲ學習セシム。文字ヲ偶然ニ  
習得セシム、初ハ字母ノ順ニ從ハズ、後ニ字母ノ順ニ從フ。第一讀本  
ヲ結了ス。

作文〇〇 第一學期ニハ、日課中ノ言詞ヲ石盤ニ楷書シ、後ニハ書寫セシ  
ム。筆書文字ヲ漸々教示シテ、學年ノ終ニ至ル比ハ是レノミヲ使用  
セシメ、ノガ爲ノニス。前學期中ニハ物体ノ名狀ヲ書寫セシム。

算術科

數量ノ課業〇〇 百以下ノ讀數方。實物ヲ以テ十以下ノ數ヲ加法減法、  
除法ニ依テ結合セシム。百以下ノ數ヲ列記セシム。

實物課業

雜類〇〇 日々生徒ノ熟知スル一個ノ物体ヲ説明セシム、即チ其大小―  
其形樣―其功用―其部分―其諸部分ノ功用。連續句節ノ口說又ハ  
書寫ヲ用テスル物体ノ名狀。  
動物〇〇 人、豚ノ諸部分―犬―猫―牛―馬―諸部分ヲ比較シ、其差同ニ  
注目ス。肉食動物及ヒ草食動物ナル名目ヲ開示ス。兔―鼠―蟹齒  
動物ナル名目ヲ應用ス。他種ノ既知動物ヲ稽查シ、比較ス。  
植物〇〇 葉、其形狀及ヒ構造并ニ諸部分。  
場處〇〇 教室ニ在ル諸ノ物体ノ位置―教室ノ諸部分ノ位置―方角ヲ  
開示ス―方角ノ諸點―壁板及ヒ石磐ニ教室ノ圖ヲ畫カシム。



尺量〇〇 二インチ 二フット 二ヤード 及ヒ二ロッドノ尺度ヲ提出シ使  
用ス。

### 第二級

#### 語學科

讀方〇〇 第二讀本ニ着手シ、此級ニ於テ之ヲ結了ス。愉快ナル音聲ヲ

修練シ、母音ヲ明了ニ發スルヲニ格別ノ注意ヲ加フ。

作文〇〇 書籍中ヨリ日課ヲ騰寫セシメ、日々物体ノ名狀ヲ書寫セシム。

字母ノ形様大小、連續ニ格別ノ注意ヲ施サシム。

#### 算術科

數量ノ課業〇〇 生徒ヲシテ自ラ十以下ノ數ノ加法、減法、乘法ノ表ヲ編  
成セシム。此等ノ現則ニ關スル練習。

#### 實物課業

動物〇〇 圖書ニ依テスル動物ノ研究ヲ繼續ス、即チ獅子—虎—象—

班驢—鹿—熊—猿。生徒ノ熟知スル鳥類ヲ稽査シ名狀ス、—雞—七

面鳥—鵝—家鴨—駒鳥—此等ノ動物ノ諸部分ヲ比較シ、又他ノ動物

ト比較ス。蛙及ヒ蜥蜴ヲ稽査シ、又既ニ學知スル他ノ動物ト比較ス。

植物〇〇 幹—枝—根及ヒ皮ヲ稽査シ名狀ス。花園植物—名稱—功用

—各種中ノ食料ニ供ス可キ部分。

場所〇〇 校内ノ房室ノ計測。配法ノ思想ヲ開示ス—一定ノ配法ヲ以

テ校内ノ房室ノ圖ヲ引カシム。方角ニ關シテ學校ノ庭園及ヒ周圍

ニ就キ研究セシム—之ヲ計測シテ圖ヲ製セシム。

尺量〇〇 二ギル 二ポイント 二クオルト 二ガルロン 二ベック 二ブスセル等ノ量機ヲ

提出シ使用ス。



普通科ニ於テノ如ク資質ニ關シテ雜種ノ物体ヲ稽查ス。

### 第三級

#### 語學科

讀方〇〇 第三讀本ニ着手ス。子音ノ元素ヲ格段ニ練習ス。童蒙書類  
及ヒ雜誌ヲ誦讀スル等ノ事ニ依テ練習ニ參差アラシム。

作文〇〇 諸事目ヲ先ツ教場ニ於テ討論シ、而シテ後之ヲ書寫セシム。

每日一篇ツ、文章ヲ作ラシム。新奇ノ言詞ヲ舉用スル毎ニ之ヲ書  
寫セシム。席上作文。

#### 算術科

數量〇〇 十以下ノ數ノ除法表ヲ篇成ス。乘法及ヒ除法ノ練習。

#### 實物課業

動物〇〇 鳥類ヲ分類ス。蛇類及ヒ魚類ヲ稽查シ、其諸部分ヲ他ノ動物  
ノ諸部分ト比較ス。有脊動物ト云フ名目ヲ開示シ應用ス。

植物〇〇 植物ノ種子ノ彙類及ヒ使用。食料ニ供ス可キ穀類及ヒ野菜  
類ノ諸種。其他尋常ノ植物ヲ稽查シ名狀ス。植物ヲ喬木、灌木、草卉  
ノ三部ニ區別スル。

場所〇〇 各生徒ヲシテ自宅ヨリ學校ニ至ルノ路程ヲ名狀シ、其圖ヲ製  
セシム。水陸ノ自然ノ區分ヲ因物的ニ名狀セシム。學校所在ノ郡  
區及ヒ都會ヲ名狀シ其圖ヲ製セシム。

尺〇量〇〇 分量ノ課業ヲ復習ス。平面尺及ヒ立方尺ヲ提出シ、使用ス。

### 第四級

#### 語學科



讀方〇〇 第三讀本ヲ結了ス。書物、新聞、雜誌等ヲ以テスル雜種ノ素讀。絶エズ音聲ヲ愉快ニシ、發音ノ斷續及ヒ句讀ヲ分明ニスルヲニ格別ノ注意ヲ加ヘシム。

作文〇〇 毎日一篇ツ、文章ヲ作ラシム―物体及ヒ事變ノ紀事―實物課業ノ再說―席上作文。花文字并ニ句點ノ位置ニ特別ノ注意ヲ加ヘシム。新奇ノ言詞ヲ舉用スル毎ニ必ス之ヲ書寫セシム。

算術科

本元ノ諸規則ヲ復習ス。除法ヲ專一ニ練習ス。原數。最大等數及ヒ最小倍數。

實物課業

動物〇〇 虫類、其形態及ヒ常習―關節動物ナル名目ヲ開示シ、使用ス。沙白、牡蠣、及ヒ蝸牛。軟体動物ナル名目ヲ提出ス。海燕ヲ稽查ス。

射形動物、ナル名目ヲ開示ス。動物ヲ有脊動物、關節動物、軟体動物、及ヒ射形動物ノ四部門ニ部類スルヲ。

植物〇〇 植物ハ如何ニ成長スルモノナルカ―外長植物及ヒ内長植物。常綠木及ヒ落葉木。諸部分ノ功用―木汁ノ流行。

地誌〇〇 氣候ノ模様及ヒ變化。學校所在ノ地方―表面―一般ノ物産―人民ノ職業―役員―地圖。

重量〇〇 通常量、金屬量、藥量等ヲ因物的ニ教示ス。此等ノ重量ノ種々ノ稱号ヲ用テ數ノ練習ノ基本トス。

第五級

語學科

讀方〇〇 第四讀本ニ着手ス。書物及ヒ雜誌類ヨリ歴史及ヒ略傳ヲ誦



讀ス。但シ生徒ヲシテ歡喜ノ情ヲ起サシムルニ適當シタル者ヲ撰  
擇スルコトニ注意スベシ。

作文〇〇 毎日一篇ツ、實物課業ニ基ク文章ヲ作ラシム。諸生徒ノ最  
モ善ク熟知スル類ノ工業上ノ職務ノ名狀ヲ書寫セシム。句讀ニ特  
別ノ注意ヲ施スヘシ。第一号及ヒ第二号習字本ヲ授ク。

### 算術科

一般ノ復習。分數—化數法—加法—減法—乘法—除法。

### 地誌科

所在ノ[州]即チ其邊境—外面—氣候—產物。合衆國。地球ノ全体即  
チ其大區分—水陸ノ排布—定義。

### 實物課業

動物〇〇 動物ノ食物—食物ノ種類—之ヲ得ル法何如。消化及ヒ消化

機。血液ノ循環。

植物〇〇 食物ニ供スル植物的ノ物品。之ヲ得ル場處及ヒ作用何如。

喬木、即チ一切普通ノ樹木ノ名稱及ヒ形質。植物ノ課業ヲ以テ作文  
練習ノ基本トス。

## 第六級

### 語學科

讀方〇〇 第四讀本ヲ結了ス。書物及ヒ雜誌類ヨリ地誌上及ヒ歷史上  
ノ章句ヲ抜抄シテ誦讀セシム—新聞雜報、新聞論說。當時研究スル  
學科中ノ或ル者ニ關係シタル文章ヲ索出シテ誦讀ノ資ト爲スモ可  
ナリ。

作文〇〇 毎日一篇ツ、作文ヲ書寫セシメ、目下研究スル學科又ハ工業



上ノ職務ヲ以テ其基本トス。第三号及ヒ第四号習字本。

### 算術科

分數ヲ結了シ復習ス。小數及ヒ聯邦貨幣ヲ結了ス。

### 地誌科

北亞米利加及ヒ南亞米利加ノ自然地誌及ヒ國政地誌上ノ名狀地誌  
トハ國洲郡縣市府等ノ 各洲ノ地圖ヲ製セシム。

### 生理學科

呼吸、—新鮮大氣—呼吸機。動物ノ體温、—如何シテ發生スルヤ—如  
何シテ保存スルヤ—寒暑ヲ防禦スル人工ノ方策—衣服—家屋—室  
内採温ノ諸法。

### 植物學科

植物ノ野生セシ者ト耕植ニ出ツル者トヲ分別ス。土着種及ヒ外來  
種ナル名目ヲ開示ス。有花植物及ヒ無花植物。

## 第七級

### 語學科

讀方—第五讀本。文詞學ノ諸部門ニ入ルノ引指ト爲ルヘキ雜種ノ  
文章ノ誦讀。目下研究スル諸學科ニ關係スル文章ノ誦讀。

作文—每日一篇ツ、作文ヲ書寫セシム—人類ノ職業—目下研究ノ  
學科ニ關係スル事目—動物ノ觀察—偶事ノ說話—既ニ説キタル話  
談若シクハ前ニ修メタル課業ノ再説。第五号及ヒ第六号習字本。

### 算術科

諸等及ヒ百分算。

### 地誌科



歐羅巴洲及ヒ亞細亞洲ノ自然地誌上及ヒ國政地誌上ノ名狀。各洲ノ地圖。

### 生理科

骨—筋骨—手及ヒ足ノ特殊ノ構造。食物消化及ヒ血液循環ノ復習。  
皮膚—神經統系—特殊覺官ノ神經眼耳以下特殊ノ感覺ヲ

### 第八級

#### 語學科

讀方—文詞學ヲ攻究スルノ引指ト成ルヘキ雜種文章ノ誦讀。文章及ヒ詩篇ノ金玉トスヘキ者ヲ學習シ、暗誦セシム。目下研究ノ學科ニ關係スル文詞ノ誦讀。  
作文—每日一篇ツ、作文ヲ書寫セシム。博物學上ノ略說—人ノ略

傳。此級及ヒ此レヨリ上ノ級ニ於テハ筆方ノ爲メニ特別ノ練習ヲ授クルニ及ハズ。作文科ノ演習ハ傍ラ書方ヲ鍛鍊セシムルニ十分ナルモノトス。

#### 算術科

百分算ヲ利息及ヒ其他百般ノ職業上ノ事務ニ應用スルヲ結了ス。比例—其原理及ヒ應用。

#### 哲學科

勢方ノ種々ノ彙類及ヒ其發作ノ様式ヲ因物的ニ開示ス。熱及ヒ其物体ノ上ニ及ホス効果。

#### 地誌科

自然地誌及ヒ國政地誌。亞非利加州及ヒ大洋洲ノ地誌。合衆國ノ特別攻究。



第九級

語學科

讀方〇〇〇 文詞學ニ引指スル雜種文章ノ誦讀。家々ノ論說スル所ノ事  
 目ノ類ヲ追テ既知著述家ヲ分類ス。  
 作文〇〇〇 每日一篇ツ、作文ヲ書寫セシム。博物學又ハ文詞學ニ關係  
 スル事目ヲ題トス。  
 文典〇〇〇 思想ヲ基本トシテ之ニ依テ言語ヲ分解ス。句節ノ元素。言  
 詞ノ彙類。連語學

算術科

面積方―雜例―算術一般ノ溫習。心算。

地誌科

自然地誌。現ニ發動シテ地球ノ表面ニ變化ヲ生スル勢力。高低及  
 ヒ水流。大洋及ヒ大氣。植物、動物、及ヒ人類ノ配布。

合衆國史科

亞米利加當初ノ情勢。亞米利加發見ノ事。殖民ノ事。戰爭ノ事。憲  
 法ノ事。行政ノ事。政治、發明、及ヒ技術ノ歴史。教育及ヒ文辭。

如氏教育學卷之下尾大





明治十七年十二月 五日版權免許  
 同 十八年七月 下卷出版  
 同 年十二月廿一日 改正再版御届  
 同 十九年一月 再版

定價金壹圓拾錢

出譯  
版註  
人者

大坂府平民

有賀長雄

東京麴町區三番町  
六十七番地寄留

東京府平民

發  
兌

牧野善兵衛

牧野善兵衛印

東京日本橋區  
通四丁目七番地



文學士有賀長雄先生講述

○ 教育 心理學

全八冊第一冊發行定價  
四十錢第二冊以下近刻

教育ノ基本ハ心理ニ在ル。爾ホ醫術ノ基本ノ生理ニ在ルガ如クナルハ世ノ知ル所ナリ。故ニ文部省モ心理ニ通スルコト教育ニ缺ク可カラサル資格ナリト公認セリ。然レモ我邦此ノ學ノ良書無キハ教育社會ノ一般ニ憂慮スル所ナリ。然レモ普通學ノ大ニ進歩普及セル外國ニ於テ著シタル書ヲ直ニ翻譯抄録スルキハ、必ス雖深ニ失スベケレバ、我邦ノ事情ヲ酌量シテ新規ニ心理學書ヲ作述スルノ外無シト雖モ、此ノ事ヲ完クセシニハ、哲學論理ノ理論ヲ自在ニ措置叙列スルノ學識ヲ要スルカ上ニ、心理學ハ當今進歩ノ最中ニ在ルヲ以テ、歐米現時ノ學事ニ通セサルヲ得ス。新規ニ心理學書ヲ作述セシ者無キハ、此ノ難情アルニ因ルカ、弊店獨ニ有賀先生ニ請テ如氏教育學譯註ヲ發行シタルニ、大ニ教育社會ヲ利セリト稱讚ヲ得タリ。故ニ今又氏ニ乞フニ心理學書ノ作述ヲ以テス。氏幸ニ諾スル有リ、會、府下ノ教員諸君ニシテ同氏ニ此ノ學ノ講義ヲ依頼スル者多シ。蓋シ同氏ハ深ク心理ヲ涉獵セブレシコト、當時同氏ト共ニ螢雪ノ苦ヲ嘗メタル學士諸氏ノ傳フル所ナレバナリ。爾來二三ノ教育會ニ於テ其著スル所ニ就テ講述セラレタルニ、精致ニシテ而モ解シ易キヲ稱セサル者無シ。全部凡ソ十五章ニシテ、第一章ハ心理學ノ性質、區分



研究法ヲ總釋ス、次ノ三章ハ心理學ノ基本トスル心意ノ生理論、分解論、發育論ヲ説明ス、是レ特ニ此ノ學ヲ我邦普通學ノ未タ深カラサルニ因テ心理ヲ解スルノ難キヲ防ク爲ニシタル者ニシテ、他書ニ就テ見ル可カラサル理論ヲ平易ニ説明スル者太タ多シ、次ニ章ヲ追テ注意、感覺、知覺、記憶、想像、概念、斷定、推理、感應、情操、意志、行狀、ヲ詳論ス、凡ソ此ノ學ニ名アル大家ノ書ハ悉ク引用スト雖モ倍因氏心理學ハ既ニ三十年前ノ發兌ニ係リ、爾後新奇ノ發明モ亦多キヲ以テ、注意感覺以下ノ諸章ハ主トシテ正據ヲ昨年發兌ノサレイ氏教育適用心理學ニ取レリ、同氏ハ英國ケンブリッヅ大學校ウヰクトリヤ大學校及ヒ倫敦大學校ノ心理、道義、哲學ノ試驗官ニシテ、現今歐洲第一等ノ心理學者トス、本書ハ全部ヲ八回以内ニ發兌シ、教科ノ用ニ便ニセンカ爲ニ、條目ハ四号活字ニシ、本文ヲ五号活字ニシ、細字ヲ以テ註解及ヒ引書ノ丁數ヲ記シ、每章必ス別目ヲ置テ教育ニ適用スル次第ヲ説明ス、實ニ本邦教育ノ大基本タルヘキ良書ナリ。

追白本書記載ノ事項ニ付講述者ニ御質問被成タキ御方ハ御通信次第御應答致シ候等本書卷末ニ附記致シ置キ候間此段併テ廣告ス

東京日本橋通四丁目 牧野善兵衛

○加初等教育論 全三册

第一卷定價金六拾錢 郵稅不要  
第二卷定價金六拾錢 同  
第三卷近刻

東京師範學校長 高嶺秀夫君序  
東京府師範學校長 和久正辰君譯

此書ハ彼ノ有名ナル英國教育學士蘇格蘭エヤンボロウ師範學校長ゼームス、カレー氏カ該博淵深ノ學カト積年苦辛ノ實驗トヲ以テ撰述スル所ニシテ特ニ初等教育ノ原理方法ヲ細論スルモノナリ全編ヲ分テ四篇二十三章二百八十七節トス今其要旨ヲ摘録スレハ○初等教育ノ原理○初等教育ニ三期アルト○初等學校ノ編制○就學期限○體育上ノ定則○心身相倚ルノ理○心身ノ勞動○腦髓ノ發達○幸福上ノ定則○生徒交際ノ善惡○同時教授法○智力ノ教育○感官ノ機能關係及ヒ其練習○概念力ノ教育ニ對スル關係○抽象法○概括法○注意力ノ厚薄○推理力○類似及ヒ殊異ノ感覺○想像力○德育ノ旨意○教員ノ自制○意志ノ練習○從順ト自由トノ比例○品性ト常習トノ關係○教授法ノ要旨○口授法○實物教授○物數物體及ヒ物色○唱歌教授法○地理讀方綴字○學校管理法○批評術ノ初歩○發問法○賞罰○校舍ノ建築○學校ノ編制○編級ノ要旨○時間表并ニ校簿ノ種類○校具并ニ參考書ノ設備等ニシテ其他甲乙丙丁四種ノ附録アリテ○引書○解說○物色ノ分解○兒童ノ輕患微傷即治法等ヲ載録スルモノナリ本編ハ固ト師範學校生徒ノ教科用ニ供スルノ目的ヲ以テ撰述セルモノナレハ以テ其課本ト爲スヘキハ勿論初等初級ノ教學ハ小學校授業中殊ニ至難ノ業タルヲ以テ今ヤ小學校教授ノ實務ニ從事シテ教育ノ新主義ヲ知ラント欲スル者必ス一讀スベキ良書ナリ

東京日本橋通四丁目七番地 牧野善兵衛



3  
70

252  
19



終

